



2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社Globee 上場取引所 東
コード番号 5575 URL <https://www.globee.io/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 幾嶋 研三郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 指田 恭平 TEL 03-6230-9016
定時株主総会開催予定日 2023年8月29日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2023年8月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期の業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	947	33.6	246	284.9	241	287.7	172	217.0
2022年5月期	709	-	64	-	62	-	54	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	35.30	-	92.5	28.7	26.0
2022年5月期	11.14	-	74.6	11.6	9.0

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 -百万円 2022年5月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	1,036	272	26.3	55.80
2022年5月期	648	100	15.4	20.50

(参考) 自己資本 2023年5月期 272百万円 2022年5月期 100百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	270	△124	△46	549
2022年5月期	226	-	△55	450

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年5月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年5月期の業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,251	32.0	316	28.6	316	30.9	209	21.5	41.95

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年5月期	4,886,000株	2022年5月期	4,886,000株
2023年5月期	一株	2022年5月期	一株
2023年5月期	4,886,000株	2022年5月期	4,886,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手し得る情報と合理的であると判断する一定の条件によって作成しているため、数値記述内容の達成を確約するものではありません。また、実績は種々の要因にて変動することがあります。業績等の予想に関する注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手について）

当社は、2023年7月20日（木）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかにウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度につきましては、「abceed」のサービス改善、コンテンツの拡充と販売拡大に注力し、一般ユーザー、法人等の有料会員数の獲得を図ってまいりました。当事業年度末において、有料会員数は7.6万人となっております。前事業年度末時点の5.7万人から大きく伸長しております。当事業年度中には、その中心となる一般ユーザー向けのProプランの半額キャンペーンの実施等により多くの新規有料会員数を獲得したことが寄与したほか、新規コンテンツの追加やユーザービリティの向上に資する機能改善や品質の向上に取り組み、特に株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメントとの提携により、「映画・ドラマ機能」の開発及びコンテンツ制作に注力し、2023年3月にリリースいたしました。今後もさらに多種多様なコンテンツに対応し、ターゲット層の拡大を図るべく、コンテンツホルダーとの協議を進めるなどの取り組みを実施しております。

法人向けについては、営業体制及び出版社等との提携関係を強化したことが奏功し、前事業年度末時点から導入法人数を大きく伸ばし、当事業年度末時点で累計317件まで伸長しております。中学校・高校では現場での活用が進み、学校現場からの要望、フィードバック等を踏まえてサービス改善を図りつつ、2023年4月の新年度からの新規導入及び既存利用校の更新を目指して、提携先の教科書出版社と協働して、販売の拡大とフォローアップを図りました。

このような状況のなか、当事業年度の業績は、売上高は947,668千円（前期比33.6%の増加）、営業利益は246,370千円（前期比284.9%の増加）、経常利益は241,772千円（前期比287.7%の増加）、当期純利益は172,479千円（前期比217.0%の増加）となりました。

当社は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

	ユーザー数	有料会員数 (期末時点)	対応タイトル数
2020年5月期末	116.5万人	1.2万人	243
2021年5月期1Q末	126.9万人	1.5万人	266
2021年5月期2Q末	141.7万人	2.0万人	303
2021年5月期3Q末	158.8万人	2.3万人	336
2021年5月期末	179.7万人	3.2万人	380
2022年5月期1Q末	195.8万人	3.3万人	396
2022年5月期2Q末	213.5万人	3.8万人	421
2022年5月期3Q末	233.1万人	4.5万人	476
2022年5月期末	257.6万人	5.7万人	550
2023年5月期1Q末	276.0万人	5.6万人	616
2023年5月期2Q末	295.3万人	6.1万人	636
2023年5月期3Q末	316.4万人	6.5万人	676
2023年5月期末	343.2万人	7.6万人	722

	導入法人数	
	期中利用数 (注1)	累計 導入数
2020年5月期末	4件	4件
2021年5月期末	74件	75件
2022年5月期末	177件	203件
2023年5月期末	224件	317件

(注1) 期中に有料で利用された法人数を記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産につきましては、前事業年度末に比べ387,433千円増加し、1,036,302千円となりました。これは主に、販売の拡大等のため現金及び預金が98,625千円増加したことにより流動資産が259,209千円増加し、機能開発及びコンテンツ開発の推進によりソフトウェアが108,435千円増加したことにより固定資産が128,224千円増加したためであります。

(負債)

当事業年度末における負債につきましては、前事業年度末と比べ214,954千円増加し、763,649千円となりました。これは主に、買掛金が12,687千円増加、販売の拡大により契約負債が172,767千円増加したことにより流動負債が244,984千円増加した一方、長期借入金が30,030千円減少したことにより固定負債が30,030千円減少したためであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産につきましては、前事業年度末と比べ172,479千円増加し、272,653千円となりました。これは当期純利益172,479千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて98,625千円増加し、549,013千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は270,025千円となりました。これは主に、契約負債などのその他の流動負債の増加額185,216千円、税引前当期純利益241,772千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は124,743千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出122,594千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は46,656千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出46,656千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く経営環境につきましては、近年、教育のデジタル化の進展が顕著に見られており、当社の事業を加速させることができる環境であると認識しております。

当社の売上高の約8割と大半を占めている一般ユーザー向けの有料会員（Proプラン）を中心に、有料会員数の着実な成長に向けて、ユーザビリティの向上やコンテンツの拡大に注力してまいります。2023年7月にはソニー・ピクチャーズエンタテインメントに続く、「映画・ドラマ」ライセンスの2社目としてパラマウント・グローバル・コンテンツ・ディストリビューションとの提携による同社コンテンツの対応をリリースするなど、ライセンスの獲得によるターゲット層の拡大を図ってまいります。

上記より、当社は2024年5月期の見通しについて、売上高は1,251,074千円（前期比32.0%の増加）、営業利益は316,800千円（前期比28.6%の増加）、経常利益は316,489千円（前期比30.9%の増加）、当期純利益は209,630千円（前期比21.5%の増加）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成する体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	450,388	549,013
売掛金	104,638	202,415
前払費用	68,308	131,008
その他	0	107
流動資産合計	623,335	882,545
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	19,133	19,133
工具、器具及び備品	4,833	9,692
減価償却累計額	△7,893	△11,081
有形固定資産合計	16,072	17,744
無形固定資産		
ソフトウェア	—	108,435
ソフトウェア仮勘定	—	7,947
無形固定資産合計	—	116,382
投資その他の資産		
出資金	50	—
敷金及び保証金	1,200	1,200
長期前払費用	186	—
繰延税金資産	8,024	18,431
投資その他の資産合計	9,461	19,631
固定資産合計	25,533	153,757
資産合計	648,869	1,036,302

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当事業年度 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,571	78,259
未払金	21,597	22,317
未払費用	8,667	14,188
1年内返済予定の長期借入金	46,656	30,030
契約負債	321,360	494,127
賞与引当金	14,675	25,547
未払消費税等	18,556	21,478
未払法人税等	15,968	71,714
その他	1,061	1,436
流動負債合計	514,115	759,099
固定負債		
長期借入金	30,030	—
資産除去債務	4,550	4,550
固定負債合計	34,580	4,550
負債合計	548,695	763,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,476	32,476
資本剰余金		
資本準備金	30,476	30,476
資本剰余金合計	30,476	30,476
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	37,221	209,701
利益剰余金合計	37,221	209,701
株主資本合計	100,173	272,653
純資産合計	100,173	272,653
負債純資産合計	648,869	1,036,302

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
売上高	709,387	947,668
売上原価	402,255	483,087
売上総利益	307,131	464,581
販売費及び一般管理費	243,115	218,211
営業利益	64,015	246,370
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	0	0
雑収入	46	32
営業外収益合計	50	38
営業外費用		
支払利息	1,403	705
支払手数料	308	308
雑損失	—	177
上場関連費用	—	3,444
営業外費用合計	1,711	4,636
経常利益	62,355	241,772
税引前当期純利益	62,355	241,772
法人税、住民税及び事業税	15,968	79,699
法人税等調整額	△8,024	△10,406
法人税等合計	7,944	69,292
当期純利益	54,410	172,479

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)		当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 仕入	※1	360,953	89.7	428,671	70.2
II 労務費		27,757	6.9	150,224	24.6
III 経費	※2	13,544	3.4	32,085	5.2
合計		402,255	100.0	610,981	100.0
他勘定振替高	※3	—		127,893	
当期売上原価		402,255		483,087	

原価計算の方法

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(注) ※1. 売上高に概ね連動する費用で、プラットフォームの決済手数料やコンテンツのライセンス料などを指します。

(注) ※2. 経費の主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
業務委託費	13,104千円	15,542千円
ソフトウェア資産減価償却費	—	11,511千円

(注) ※3. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
ソフトウェア	—	119,946千円
ソフトウェア仮勘定	—	7,947千円

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	32,476	30,476	30,476	△17,188	△17,188	45,763
当期変動額						
当期純利益	—	—	—	54,410	54,410	54,410
当期変動額合計	—	—	—	54,410	54,410	54,410
当期末残高	32,476	30,476	30,476	37,221	37,221	100,173

当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	32,476	30,476	30,476	37,221	37,221	100,173
当期変動額						
当期純利益	—	—	—	172,479	172,479	172,479
当期変動額合計	—	—	—	172,479	172,479	172,479
当期末残高	32,476	30,476	30,476	209,701	209,701	272,653

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	62,355	241,772
減価償却費	2,728	14,699
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	1,403	705
営業債権の増減額 (△は増加)	△31,469	△97,776
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,681	12,687
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,358	△62,620
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	177,474	185,216
小計	225,808	294,677
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△1,403	△705
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	1,925	△23,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,335	270,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,198
無形固定資産の取得による支出	—	△122,594
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△124,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,552	△46,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,552	△46,656
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	170,783	98,625
現金及び現金同等物の期首残高	279,604	450,388
現金及び現金同等物の期末残高	450,388	549,013

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は教育サービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
1株当たり純資産額	20.50円	55.80円
1株当たり当期純利益	11.14円	35.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2021年6月1日 至2022年5月31日)	当事業年度 (自2022年6月1日 至2023年5月31日)
当期純利益(千円)	54,410	172,479
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	54,410	172,479
普通株式の期中平均株式数(株)	4,886,000	4,886,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数108,293個)。	新株予約権4種類(新株予約権の数146,587個)。

(重要な後発事象)

(一般募集による新株式の発行)

当社は、2023年6月14日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年5月11日及び2023年5月26日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2023年6月13日に払込が完了いたしました。

- ① 募集方法 : 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
- ② 発行する株式の種類及び数 : 普通株式110,800株
- ③ 発行価格 : 1株につき1,150円
一般募集はこの価格にて行いました。
- ④ 引受価額 : 1株につき1,058円
この価額は当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。
なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。
- ⑤ 払込金額 : 1株につき918円
この金額は会社法上の払込金額であり、2023年5月26日開催の取締役会において決定された金額であります。
- ⑥ 資本組入額 : 1株につき529円
- ⑦ 発行価格の総額 : 127,420千円
- ⑧ 払込金額の総額 : 101,714千円
- ⑨ 資本組入額の総額 : 58,613千円
- ⑩ 払込期日 : 2023年6月13日
- ⑪ 資金の用途 : 借入金の返済、ソフトウェア及びコンテンツ開発費